

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、Ⅲ、V】
2 実施対象者	札幌市立米里小学校 第3学年 67名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間、社会科 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	・ウィンタースポーツへの興味関心を喚起し、オリンピック競技への理解を深めるとともに、冬でも雪に親しみながら楽しく遊んで過ごすなど、冬期間における体力向上の取組のきっかけづくりとする。 (主として「総合的な学習の時間」) ・札幌オリンピックミュージアムの見学を機会に市の特色やよさを調べ考えるとともに、札幌の歴史として受け継がれるものの一つとしてオリンピック開催があることを理解する。 (主として「社会科」)
5 取組内容	札幌で冬季オリンピックが開催された事実から冬季スポーツの種目や施設について調べる。事前に学習したことをもとに、オリンピックミュージアムでオリンピックの講話を聞き、施設見学を行う。見学後は新聞にまとめ、交流する。 ○指導計画〔5時間扱い…総合的な学習 3.5 時間・社会科 1.5 時間〕 〔総合的な学習・社会科 1 時間〕 ・冬季オリンピックが札幌の街づくりに果たした役割を学ぶとともに、冬季オリンピック、パラリンピックの競技種目とその内容や、札幌にある冬季のスポーツ競技の施設が数多くあることを事前学習する。(総合・社会科)

〔総合的な学習 1時間・社会科 1時間〕

- ・札幌オリンピックミュージアムにて、オリンピックの講話を聞いたり、展示物から札幌オリンピックの概要（競技・施設）について調べたりする。（総合・社会科）
- ・冬季オリンピックで行われる競技を、施設 設備を利用し模擬体験をする。（総合）
- ・大倉山ジャンプ台のスタート地点から札幌 市の土地の様子を見学する。（社会科）

〔総合的な学習 2時間〕

- ・事前学習で調べたことや見学したことをもとに新聞等にまとめ、交流する。（総合）

○学習の様子

6 主な成果

- ・札幌出身のオリンピックで、アルペンスキー選手川端恵美さんの講話から始まった。オリンピック・パラリンピックの説明後、川端さん自身が幼少の頃から藻岩山スキー場で練習を積み重ねてきたことを話していただき、「努力」について考える児童もいた。また、楽しく安全にスポーツを行うためのルール必要性やコミュニケー

	ションの大切さなどの話は、今後の子どもたちの生活にも生かされるものであった。さらに体にフィットするレーシングウェアや空気抵抗を考えたポールなど、競技に使う道具に様々な工夫が施されていることにも興味をもったようで、実際に使用したウェアを触らせてもらい、その薄さに驚いていた。 ・館内見学で学芸員の方に説明を熱心に聞いたり、展示されている道具類やメダル、パネル説明を夢中になって見たりする姿からは、今回の学習に対し、関心を高めていく様子が窺えた。さらにバーチャルではあるが普段、経験したことのないスポーツも体験した。冬季スポーツの楽しさを感じたようで、笑顔で活動するとともに、自ら体感し、なかなか上手にできないことから「選手の凄さ」を想像する児童もいた。 ・リフトに乗りジャンプ台スタート地点を見学した際には、その高さに驚くとともに、「スタートする場所の高さが変えられる」ことに目を向けるなどジャンプ競技そのものに興味を抱く児童もいた。社会科学習として市の街並みを一望し、その広さを実感することもできた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	・学習を通して、オリンピック・パラリンピック、冬季スポーツに興味関心を高めることができた。本校はスキー場や競技施設等が近隣にない校区なので、その気持ちを子どもたちの普段の学校や家庭の生活(学習・遊び)に、いかにつなげていくのかを考えなければならない。 ・冬季間の交通事情もあり、移動時間が長くなる。そのため子どもの活動が十分に行えたとは言い難い。「オリンピックのお話」、「模擬体験」、「ジャンプ台」とも意義のある活動だけに、雪がない時期に実施することで、活動時間を確保できればと考える。
9来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。